

防災

令和2年9月1日

No. 157

消防署訓子府支署
訓子府消防団
危安協訓子府部会



9月1日 防災の日



9月1日を「防災の日」としたのは、大正12年のこの日に甚大な被害をもたらした関東大震災が発生したことや暦の上で二百十日にあたり台風シーズンを迎える時期であることが主な理由とされています。

昭和35年6月11日の閣議了解により、広く国民に地震や台風等の災害に対する防災意識を高めてもらうため9月1日が「防災の日」と定められました。

近年、大雨による水害が発生し、人的被害や住家被害が多く発生しています。

夏の終わりから秋にかけての台風ばかりではなく、季節の変わり目には、大気の状態が不安定になりやすく、低気圧が台風並みに発達することがあります。こういうときは油断しがちですから、天気予報を確認する習慣をつけましょう。また、その地域だけに起こる局地的な大雨などにも注意しましょう。



全国標語

その火事を 防ぐあなたに 金メダル

組合標語

消したはず 油断の心が 火事のもと

【火事・救急・救助は 局番なし『119番』】



集中豪雨で車の冠水・水没トラブルが急増しています。冠水道路を無理に渡ろうとすると立ち往生するケースが多く、脱出不能になり水没した車に閉じ込められ水死する事故も起きています。

タイヤの半分を超える水位に達したときは走行を控えましょう。



大雨が降った時の川は水かさが増し、流れも速く大変危険です。また山岳地帯でもがけ崩れや地滑りの危険がありますので浸水、土砂災害の発生するような場所には絶対に近づかないようにしましょう。

身の回りの危険な箇所や避難場所、避難経路等を確認していざという時のために、常日頃から災害に備えましょう！！



熱中症に気を付けましょう

気温の高い日が続いています。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い外出が減り高温環境に体が慣れにくくなっていることや、マスクを着用していることから、特に熱中症の発生に注意しましょう！！

～熱中症予防のポイント～

- こまめに水分補給
- 無理をせず適度に休憩
- 直射日光を浴びない
- エアコンや扇風機の有効活用
- バランスのとれた食事と睡眠で体力増進

